顔認証サーバーソフトウェア WV-ASF950 シリーズ V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.11 へのアップデート手順

登録顔検知モード、登録顔/未登録顔検知モード、どちらの場合も本ツールでバージョンアップが行えます。

V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.11 ヘバージョンアップすると、顔認証エンジンが変わるため、運用に合わせて アラーム感度の再調整が必要になる場合があります。

V4.xx では、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

マスク無し:1.04 マスクあり:1.12

としています。

ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場で

アラーム感度を調整してください。

アラーム感度を変更する場合は、手順「4.アラーム感度の調整」をごらんください。

古いバージョンの WV-ASF950 をアンインストール後に PC の再起動を促すメッセージが表示される場合が ありますが、再起動はせずにアップデートツールの表示にしたがって操作を進めてください。



デフラグの実行時間、Synergis 情報の同期の実行時間が本バージョンアップで初期値に戻ります。 手動で実行時間を変更している場合は、バージョンアップ後に再度設定をしなおしてください。

- ・ デフラグの実行時間 初期値:毎週月曜日 4:00-5:00
- ・ Synergis 情報の同期の実行時間:初期値 毎日 3:00

「PostgreSQL is not runninng」、「MDDB backup error」、「Configuration file is not found」の メッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。



改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、再度アッ プデートを実行してください。

無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。



概要

バージョンアップは、以下2つのツールを用いて実施します。

・Config ツール : WV-ASF950 ConfigurationTool (デスクトップのショートカット)

・アップデートツール: UpdateTool_for_ASF950_V1-V3_to_V4_11

※各ツールは USB メモリ等から直接実行せず、デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください。 ※ASF950のバージョンは、C:¥ASF900¥version ファイルをメモ帳などで開いて確認してください。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	使用するツール
1	システムの停止	システムを停止し、サーバーの種別(マスターかスレーブか)の 確認をします。	Config ツール
2	システムのアップデート	更新ファイルのコピー・システム設定の更新を行います。	アップデートツール
3	システムの起動	バージョンが更新されていることを確認し、システムを起動します。	Config ツール
4	アラーム感度の調整	運用に合わせてアラーム感度を再調整します。	バッチファイル WV-ASM300
5	カメラ情報の更新	マスク顔検出するカメラの情報を更新します。	Config ツール

また、サーバーの稼働状況を逐次確認するために顔認証サーバーエラー通知ツールを任意の PC にインストール してください。

※既存の顔認証サーバーエラー通知ツールのアンインストールから実施する必要がありますが、設定していた IP 情報は アンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容
1	アンインストール	前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールをアンインストールします。
2	インストール	任意の PC 上で顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールを実行します。
3	サーバーの登録	顔認証サーバーエラー通知ツールにサーバーを登録します。

サーバーソフトウェアのバージョンアップを各サーバーPC 上で行います

1. システムの停止

(1) Config ツールを起動し、「サービスプロセス管理」タブをクリックします。

1 2 3 4 5

- (2) 以降の手順を進めるために サーバーが「マスター」か「スレーブ」かの判断を行います。
 図の(2)の枠内の表示が「未インストール」となっている場合は「スレーブ」です。
 それ以外の場合は、「マスター」です。
 (以下の画面はマスターの例です)
- (3)「すべてのサービスプロセス」がチェックされていることを確認し、「停止」ボタンをクリックします。

WV-ASF950 Configuration Tool		- 🗆 X
WV-ASF950 設定ツール	(ASF9s0ConfigTool Ver. 1.0.0.25)	▼ 終了
サーバー構成 サーバー設定 セキュア設定 ライセンス管 🖳 😏		
サービスプロセス管理 更新		
開始	_{停止} (3)	
● すべてのサービスプロセス		
ASF950BRK01	^{実行中} (2)	
ASF950BRK03	実行中 (一)	
ASF950BrokerManager	実行中	
O ASF950httpd	実行中	
ASF950Redis	実行中	
ASF950MSM	実行中	
ASF950EXT01	実行中	
ASF950EXT06	実行中	

(4) すべてのプロセスが「停止」となっていることを確認し、「終了」ボタンをクリックして、Config ツールを閉じます。

1 2 3 4 5

2. システムのアップデート

デフラグツール(Contig)が以下の場所にインストールされているか確認してください。 C:¥Contig¥Contig64.exe

インストールされている場合は (1) 以降を実行してください。 インストールされていない場合、デフラグツール(Contig)をインターネットに接続可能な PC からダウンロードしてください。 ※ バージョン 1.8.0.0 以降のものをダウンロードしてください

URL : https://docs.microsoft.com/en-us/sysinternals/downloads/contig

ダウンロードした Contig.zip を右クリックしてプロパティ画面を開いたときに、下図のようなセキュリティ表示がされる場合は「許可する(K)」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。

Contig.zipのプロパティ >				
全般 セキュリ	ティ 詳細 以前のバージョン			
	Contig.zip			
ファイルの種類:	圧縮 (zip 形式) フォルダー (.zip)			
プログラム:	■ エクスプローラー 変更(C)			
場所:	C:¥Users¥Desktop	-		
サイズ:	241 KB (246,787 パイト)			
ディスク上 のサイズ:	ディスク上 244 KB (249,856 バイト) のサイズ:			
作成日時:	作成日時: 2020年3月3日、13:08:26			
更新日時:	2020年3月4日、18:42:00			
アクセス日時:	2020年3月4日、18:42:00			
属性: □]読み取り専用(R) 🗌 隠しファイル(H) 詳細設定(D)			
セキュリティ: こ た め 〒	のファイルは他のコンピューターから取得し □ 許可する(K) ものです。このコンピューターを保護するた □ 許可する(K))、このファイルへのアクセスはブロックされる J能性があります。			
	OK キャンセル 適用(A)			

Contig.zip を解凍し、Contig64.exe を ASF950 をインストールする PC の

"C:¥Contig¥Contig64.exe"の場所に配置してください。

※ 実施後、本ツールを実行する必要はありません。アップデートツールによるアップデート後、毎週月曜日の4:00 に自動で実行されるようになります。最適なデフラグメンテーションを行うためには本ツールが必須であり、Contig をインストールしないと ASF950 をアップデートすることができません。

更新ファイルのコピー・システム設定の更新を、アップデートツールで行います。

(1)「UpdateTool_for_ASF950_V1-V3_to_V4_11¥WV-ASF950¥04_Tools」フォルダ 内の 「ASF950UpdateTool.exe」を実行します。

※デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください

「PostgreSQL is not runninng」、「MDDB Backup Error」、「Configuration file is not found」のメッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。



改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、 再度アップデートを実行してください。

無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。



(2) データベースのパスワードの入力・確認

設定済みのデータベースのパスワードが表示されますので、パスワードに間違いがないことを確認してください。



(3) 「グラフィックボードの選択」で、サーバーで使われている GPU ボードがリストで表示されます。 ドライバーが対応していない場合、警告が表示され[キャンセル]ボタンが表示されます。

SF950 Software Update	- 🗆 X
ソフトウェア更新手順	データベースのパスワード登録
ステップ1 パスワードの登録	データベースで使用するパスワードを入力してください
ステップ2 古いバージョンのアンインストール	パスワードは管理者が適切に管理をおこなってください。
ステップ3 新しいバージョンのインストール	グラフィックボードの選択
	NVIDIA Quadro P4000
	グラフィックボードのドライバをアップデートする必要があります。ドライバをアップデートした後 に 町度お取しください。
	キャンセル

GPU ボードのドライバーのバージョンを 471.68 以上に更新後、再度アップデートツールを起動してください。

(4) [次へ]ボタンが表示されている場合は、[次へ]ボタンを押します。

ASF950 Software Update	- 🗆 X
ソフトウェア更新手順	データベースのパスワード登録
ステップ1 パスワードの登録	データベースで使用するパスワードを入力してください
ステップ2 古いバージョンのアンインストール	パスワードは管理者が適切に管理をおこなってください。
ステッフ3 新しいバージョンのインストール	グラフィックボードの選択
	NVIDIA Quadro P4000
	小規模構成のための設定をおこないます。
	次へ

(5) 古いバージョンの WV-ASF950 のアンインストールが自動的に始まります。

ASF950 Software Update	- 🗆 X
ソフトウェア更新手順	古いバージョンのアンインストール
ステップ1 パスワードの登録	アンインストールしています
ステップ2 古いパージョンのアンインストール ステップ3 新しいパージョンのインストール	WV-ASF950 V1.04 WV-ASF950 V1.04 を構成しています。しばらくお待ちください。 受り時間: 9 秒
	次へ

古いバージョンのWV-ASF950をアンインストール後にPCの再起動を促すメッセージが表示される場合がありますが、再起動はせずにアップデートツールの表示にしたがって操作を進めてください。



(6) 古いバージョンの WV-ASF950 のアンインストール終了が表示されたら、「次へ」ボタンで進んでください。



(7)新しいソフトウェアのインストールが始まりますので、「使用許諾契約書に同意します」にチェックをし、「インストール」 ボタンをクリックしてください。



(8) インストール完了後、「完了」をクリックします。



(9)環境設定などが始まります。

「ソフトウェア更新完了しました。」と表示されますので、[終了]ボタンを押してアップデートを終了します。



(10) 再起動のダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、PC を再起動してください。





- 3. システムの起動
- (1) Config ツールを起動します
- (2) Config ツールのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します。 サーバーのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します

【マスターサーバーの場合】

顔認証管理サーバーのバージョンを確認します。

WV-ASF950 Configuration Tool					- 🗆 X
WV-ASF950 設定ツール (ASF MV	950ConfigTool Ver. 3. DIA Quadro RTX 5000	-1	Japa	nese 💌	終了
サーバー構成「サーバー設定」セキュア設定「ライセンス管理」サービスプロ	セス管理				
顔認証管理サーバー 192.168.0.215 ▼					
夏 - 颜認証管理 [192.168.0.215] 更新	サーバー情報				
	編集				
112.168.0.104]	#-11-94	1 68900000		62-11	
「15.72 [192.168.0.163]	IPTFLZ	192.168.0.215		(037	
1/X51 [192.168.0.107]	ポート番号	80			
7	MACTFL	λ 18:60:24:87:9 A :1F			
ニック 「「「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「	L				
87%, I/O装置管理	サーバーリスト	カメラ			
V	登録数	2			
	No. サ	-バーID サーバー識別番号	サーバータイプ	IPアドレス	术一下番号
	01 2	1	顔認証サーバー	192.168.0.215	80
	02 3	2	顔認証サーバー	192.168.0.216	80
サーバーにおか					

顔認証サーバー(顔認証1)のバージョンを確認します。



【スレーブサーバーの場合】

顔認証サーバー(顔認証2以降)のバージョンを確認します。

WV-ASF950 Configuration Tool				- 0	×
【112] WV-ASF950 設定ツール (AS	F950ConfigTool Ver. 2.00)		Japanese	終7	
サーバー模式 サーバー設定 セキュア設定 ライセンス管理 サービスプロ	セス管理				
<i>額認証管理サ−パ−</i> 192.168.0.215 ▼					
. 新聞記憶管理 [192.168.0.215] 更新	サーバー情報				
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	51 m				
	9-K-917 M	22	(v3.:1	<mark>) </mark>	
S MIER [192.168.0.216]	IP7FLA 19	2.168.0.216			
	ポート番号 80	5787740546			
- ™ *7%-7					
■##1-ASM300/VI754777F [192.168.0.72]	215				*
Boo VO笑直管理	P688 1				
	No. 71×5127FU	2 MAC7FV2	GUID	_	
	001 192.168.0.107	080023457D6F	00000000-0000-0000-0000-1921	168000107	
					- 1
					- 1
カメラ追加 削除					

(3) Config ツールの「サービスプロセス管理」タブをクリックします。 すべてのプロセスが「実行中」となっていることを確認し、「Exit」ボタンをクリックします。



4. アラーム感度の調整

V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.xx ヘバージョンアップすると顔認証エンジン変わるため、アラーム感度の 再調整が必要になる場合があります。

本システムでは、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

マスク無し:1.04 マスクあり:1.12

としています。

ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でア ラーム感度を調整してください。

登録顔	アラーム感度推奨値		
マスク無し	1.04		
マスクあり	1.12		

4.1. 個別に登録人物を選んで、アラーム感度を調整する

(1) WV-ASM300の顔検索画面の左下にある「人物情報管理」ボタンをクリックします。

▋□人物情報管理

(2) 人物情報一覧画面が表示されます。

アラーム感度を調整する人物を選択して、「修正」ボタンをクリックします。



(3) 画像ファイルからの顔画像選択と登録画面が表示されます。

アラーム感度を上下ボタンやスライダーで「1.12」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。

四 萬余77년	LOGOM B	「伊羅沢と意想		×			
		(1488481184888075-1420 24888821(8828125 ■ 2988	7946年豊裕にたなたい。 第三 物成上高度合物で高利止ます。 おする時度、自然の構造、自然にない。 部内の可能の知らい場合になることでない。 部内の可能のないる場合になった。 第二 のの情報を置いてくない。				
	6	21/2A0-R					
68 48							
-		• 5 • x • 0 525L					
87							
2939-	i.	~	_			日本	B÷
73-68Z	Ť			アラー人成度			
N IS NO.	2	Exercise Max		7 1A.158/52	•		
19788		107里!!				\sim	VV
217			DK				

4.2. 一括でアラーム感度を[1.12]に調整する

アラーム感度が 1.12 未満の登録人物を、バッチファイルで一括して 1.12 に調整します。 すでにアラーム感度が 1.12 以上に設定されている場合は、バッチファイルを実行してもアラーム感度は変更されません。

- (1) マスターサーバーのデスクトップなどに、バッチファイル「アラーム感度一括変更バッチ(1.12).bat」をコピーします。
 ※ https://sol.panasonic.biz/security/cgi-bin/ipro/download/tbookmarka_m.cgi?m=%20&mm=2018092115504368
 からダウンロードしてください。
 コピー後、バッチファイルをダブルクリックで実行します。
 - 新しいアラーム感度を「1.12」に設定する場合は Y または y を入力後、ENTER キーを押してください。 (キャンセルする場合は N または n を入力後、ENTER キーを押してください。)

次にデータベースのパスワードを入力して、ENTER キーを押します。

C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe
このバッチファイルは、₩-ASF950シリーズの アラーム感度を[1.12]へ一括変更するバッチファイルです。
このバッチファイルはマスターサーバーで実行してください。
WV-ASF950の動作中にこのバッチファイルを実行しても問題ありません。
アラーム感度 一括変更バッチ V1.00 パナソニックi-PRoセンシングソリューションズ(株) ====================================
新しいアラーム感度を「1.12」で設定しますか?(Y/N)
У (再確認)新しいアラーム感度を「1.12」で設定しますか?(Y/N)
ッ データベースのバスワードを入力してください >> Abc123!#\$

(2) バッチ処理が正常に完了すると、下のメッセージが表示されます。

変更したアラーム感度は、10 秒ごとに 20 件ずつ運用状態へ反映されます。



- (3) エラーが発生した場合は、下のようなメッセージが表示されます。
 - データベースのパスワードを確認して、もう一度バッチファイルを実行してください。



4.3. 新規に登録する場合の初期値を変更する

新規にアラーム通知する顔を登録する場合のアラーム感度の初期値を、あらかじめ指定した値に 変更しておくことが可能です。

- (1) WV-ASM300 を終了します。
- (2) エクスプローラーを実行し、

「C:¥Program Files (x86)¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ を開きます。 「constants.xml」ファイルをデスクトップなどにコピーします。

※ 32 ビット版 Windows をお使いの方は、

- 「C:¥Program Files ¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ
- に「constants.xml」ファイルがあります。

(3) メモ帳などで「constants.xml」ファイルを開き、下線の値を変更します。

<!-- 顔検索モニター顔登録アラーム感度初期値(0.00~2.00) --> <constant name="AlarmSensitivity" value="1.04" />

ファイルを保存後、

「C:¥Program Files (x86)¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ に「constants.xml」ファイルを上書きコピーします。

※ 32 ビット版 Windows をお使いの方は、

「C:¥Program Files ¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ に「constants.xml」ファイルを上書きコピーします。

(4) WV-ASM300を起動し、顔検索画面の左下にある「人物情報管理」ボタンをクリックします。

▋●■人物情報管理

(5) 人物情報一覧画面が表示されます。

「新規登録」ボタンをクリックします。



(6) 画像ファイルからの顔画像選択と登録画面が表示されます。 アラーム感度が、(2)で設定された値になっているか確認します。





5. カメラ情報の更新

カメラのマスク顔検出機能を使うときは、対象のカメラ(i-PRO EXTREME シリーズのサポート機種のみ)の ファームウェアを V2.00 以降ヘバージョンアップした後、サーバーのカメラ情報を更新する必要があります。

(1) マスターサーバー上で、Config ツールを起動します

(2)「サーバー構成」タブを選択します。

情報更新するカメラを選択し、「編集」ボタンをクリックします。

カメラ設定画面が表示されます。

WV-ASF950 Configuration Tool	- 🗆 🗙
KV-ASF950 設定ツール (ASF990Configlioul Vec. NVDA Quadra RTX 50 NVDA Quadra RTX 50 P-//-555 P-/2-71047385 P-/2-71047385	(+) Japanese ¥7 80
	ス 192.168.0.163 e0 admin

(3)「接続」ボタンをクリックします。

「接続完了」と表示され、Config ツールがカメラの情報を取得しなおします。

🛃 Camera Setting		-	×
カメラ情報 顔認証サーバー	FM1:192.168.0.215		
X Camera	× DataBase		
カメラIPアドレス	192.168.0.163		
ポート番号	80		
ユーザー	admin		
パスワード	*****		
SSL 接続完了! MACアトレス	● On ● Off 接続 BCCC342:/13CC:F3		

マウス顔検出の設定メニューが表示されるので、検出レベルをプルダウンメニューから選択します。

※「高」が推奨レベルです。

設定後、「更新して閉じる」ボタンをクリックします。



- (4) 他のカメラについても、(2)-(3)の手順を繰り返します。
- (5)設定を反映させるため、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。

WV-ASF950 Configuration Tool			- 🗆 🗙
WV-ASF950 設定ツール	(ASF950ConfigTool Vec 1.09) NVIDIA Quadro RTX 5000	Japanese 🔹	終了
サーバー構成 サーバー設定 セキュア設定 ライセンス管理 サ	ービスプロセス管理		
サービスプロセス管理 更新			
開始	停止		
 すべてのサービスプロセス 	J		
ASF950BRK01	実行中		
ASF950BRK03	実行中		
ASF950BrokerManager	実行中		
ASF950httpd	実行中		
ASF950Redis	実行中		
ASF950MSM	実行中		
ASF950EXT01	実行中		
ASF950EXT06	実行中		
ASF950IOManager	実行中		
ASF950PPS	実行中		

(6) 他の PC のスレーブサーバーがある場合、同じように、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを 停止し、再度開始します。 顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップ

顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップを、ツールがインストールされているクライアント PC で 行います



1. アンインストール

旧バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールがある場合のみ実施してください (バージョン 3.xx のツールをお使いの場合)

(1) デスクトップの右下に表示されるアイコンを右クリックして「終了」をクリックし、終了確認メッセージで「はい」をクリックしてツールを終了してください。



- (2) [コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択します。
- (3) [プログラムのアンインストールまたは変更]画面に表示されているプログラムから、「WV-ASF950 エラー通知ツール」 を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- (4) 画面の指示に従ってアンインストールします。

※アンインストール後に PC の再起動は必要ありません。



- 2. インストール
- (1)「UpdateTool_for_ASF950_V1-V3_to_V4_11¥Error Notification Tool」フォルダ を、Config ツールで 端末に登録した PC 上にコピーします。
- (2) コピーした PC 上で「Error Notification Tool」フォルダ内の
 「WV-ASF950_Error_Notification_Tool_Setup_vxxxxJ.exe」を実行します。
 ※ ****にはバージョン情報が入ります。
- (3)「次へ(N)」ボタンを押します。



(4)「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押します。

🐻 WV-ASF950 エラー通知ツール - InstallShield Wizard	\times
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。	5
摘要: ソフトウェア:WV-ASF950シリーズ ライセンス数:1 ネットワーク使用:可	^
この契約は、上記ソフトウェア(以下、本ソフトウェアといいます。)の使用 許諾に関する契約であり、お客様が以下の内容をご承諾いただくことがご使用 の条件となっています。あらかじめ以下の内容をよくお読みください。お客様 が本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたはご使用を開始されるこ	~
 使用許諾契約の条項に同意します(A) (P用計諾契約の条項に同意します(A) 	
InstallShield < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(5) 顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールが始まります。インストールが終了したら「完了(F)」ボタンを押して 終了します。





3. サーバーの登録

新規インストール時もしくはシステム構成を変更する場合に実施してください。

※設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません

(1) デスクトップ上にある「WV-ASF950 エラー通知ツール」をダブルクリックして顔認証サーバーエラー通知ツールを起動します。

※自動起動はしないため、インストール後はショートカットから必ずツールを実行してください。

(2) タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして「情報ウィンドウを開く」をクリックします。 顔認証サーバー情報ウィンドウが表示されます。



(3)「追加」ボタンをクリックします。

WV-ASF950 サーバー登録画面が表示されます。



(4) IP アドレスを入力します。

サーバーの SSLを On にしている場合、「SSL」にチェックをします。 サーバー種別は「マスター」にチェックがついていることを確認します。 設定後、「追加」ボタンをクリックします。

		×
WV-ASF950サ・	-バー登録	
IPアドレス	192.168.0.209	
ポート番号	80 🗖 SSL	
サ−バ−種別	• و 🗴 ک	
	追加	

顔認証サーバー情報に登録したマスターサーバーが追加され「状態[OK]」が表示されることを確認します。

WV-ASF950 顔認証サーバ	~ 情報	
マスター [192.168.0.209]	状態[OK]	
追加 編集	削除	閉じる

「状態[OK]」にならない場合は、IP アドレスが正しいか、ネットワーク機器に、顔認証サーバーのサービスプロセスが起動しているかを確認してください。

(5) 他のマスターサーバーやスレーブサーバーがある場合、(3)-(4)の手順でサーバーを追加します。スレーブサーバーを 追加する場合、マスターサーバーを選択した状態で「追加」ボタンをクリックします。